

土木部の重点プログラム推進のための事業概要

目次

資料2に掲げた施策を重点プログラム推進のための事業としてまとめたものです。

ふくしまの特性を生かした産業の総合力発揮プログラム

- ・「建設産業の新分野チャレンジを応援」 ……2
(意欲ある建設業チャレンジ支援事業)

地域活性化を導くふくしまの低炭素社会づくりプログラム

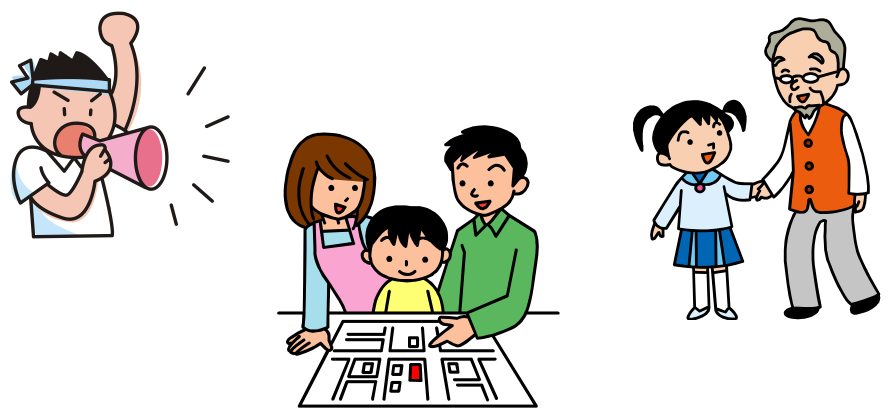
- ・「ふくしまの低炭素社会づくりの推進」 【新規】 ……3
(ふくしまの低炭素社会づくり推進事業(森を木づかうふくしま住まいる事業) 外)
- ・「環境にやさしいモデル工事の推進」 【新規】 ……4
(環境にやさしいモデル工事)

ふくしまのにぎわい創出プログラム

- ・「里山の暮らしを支える道づくり」 【新規】 ……5
(過疎・中山間地域における地域交通確保事業)
- ・「みんなで育もう『地域の宝』」 ……6
(元気ふくしま、地域づくり・交流促進事業)
- ・「田舎に住んで民家!？」 【新規】 ……7
(田舎に住んで民家促進事業)
- ・「“魅力いっぱい” 磐梯吾妻、来て!見て!食べて!事業」 ……8
(“魅力いっぱい” 磐梯AZUMA、来て!見て!食べて!事業)

健康で生きがいに満ち、安全で安心なふくしまづくり推進プログラム

- ・「人にやさしく安全で快適な歩行環境づくり」 ……9
(やさしい道づくり推進事業)
- ・「進めます!“みんなにやさしい”公共建築」 ……10
(共生のまち推進事業)
- ・「緊急橋りょう改修事業 外」 ……11
(緊急橋りょう改修費、橋りょう補修費(補助) 外)
- ・「災害は水から(自ら)守って安全・安心!」 ……12
(集中豪雨から命を守るプロジェクト事業)
- ・「安全安心ふくしまの家づくりの推進」 ……13
(住宅安全ストック形成事業)
- ・「土砂災害から守るみんなの命」 ……14
(土砂災害から災害時要援護者関連施設を守る砂防事業)





建設産業の新分野チャレンジを応援

～建設産業の活力回復と魅力ある産業への転換を支援します～

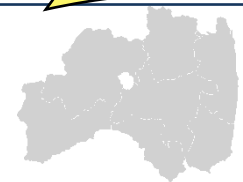
県の重点プログラム
を推進する事業

取組みの目的

建設投資の大幅な減少など、県内建設業を取り巻く経営環境が厳しいものとなっているため、新分野への進出により経営基盤の強化を目指す建設業者の自主的な取組みを支援します。

実施予定箇所

○建設業者が県内各地で取り組む新分野事業を支援します。



取組みの内容

- 事前調査支援事業費補助金
新分野進出に必要な事前の調査や研究を行うための費用の一部を補助します。
- 中小企業経営革新計画事業費補助金
新分野進出に関する経営革新計画に基づき事業を実施するための費用の一部を補助します。
- 新分野進出企業認定制度
新分野進出した建設企業を認定し、入札参加資格審査等においてインセンティブを付与します。
- 新分野進出優良企業表彰
新分野進出企業認定を受けている建設企業の中で、特に優れた成果を収めている企業を表彰し、広く周知します。

実施の状況

◆◆新分野進出事例◆◆



いちごの栽培



高齢者向け賃貸住宅の経営



スポーツ施設の運営



ふくしまの低炭素社会づくりの推進

【新規】

～地域の資源を活かした連携によるふくしま型の住まいづくりを進めます～

県の重点プログラム
を推進する事業

取組みの目的

県内の林業・住宅産業に携わる方々の連携を促進するとともに、県産木材を使用した住まいに対し補助を行い、低炭素型社会の実現と地域住宅産業の活性化を図ります。

取組みの内容

農林水産部と土木部の連携により以下の事業に取り組みます。

○緑の住宅普及支援事業（農林水産部）

県産木材住宅普及のため、建て主等にセミナー、ワークショップ、木材生産現場ツアー等を開催

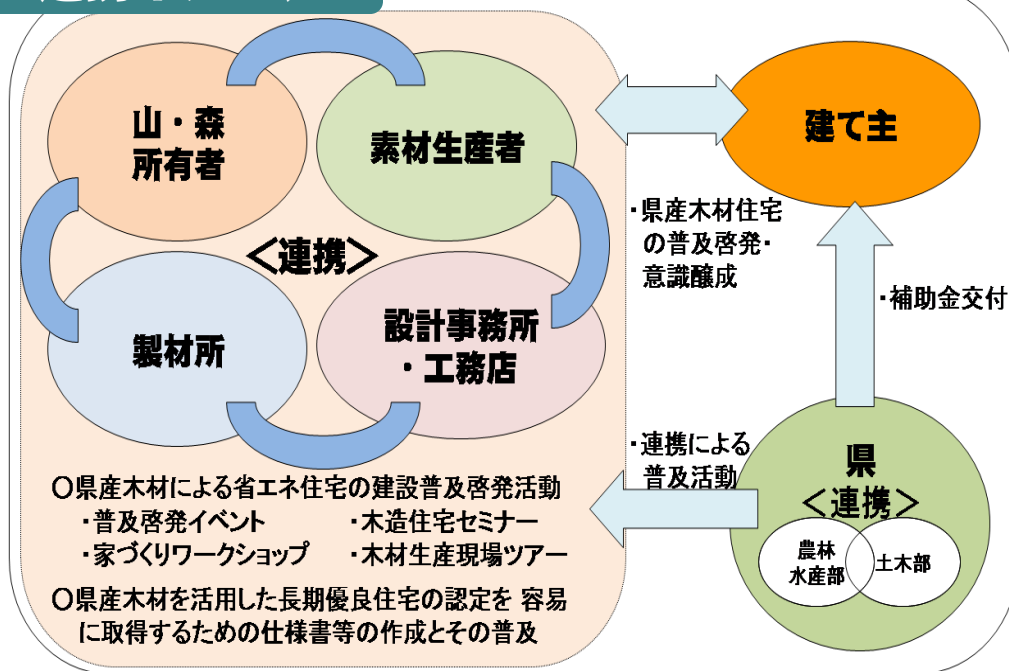
○森を木づかうふくしま住まいる事業（土木部）

- ・県内工務店等により県産木材を一定量以上使用して新築する住宅の建て主に、建設費の一部を補助します。
- ・県産木材を使用した木造住宅の建設は、地域住宅産業の活性化とCO2の削減につながることを広く周知します。

○「ふくしまの家」促進事業（土木部）

県内工務店等が長期優良住宅の認定を容易に取得できるような環境を整備

連携イメージ



- 県産木材による省エネ住宅の建設普及啓発活動
 - ・普及啓発イベント
 - ・木造住宅セミナー
 - ・家づくりワークショップ
 - ・木材生産現場ツアー
- 県産木材を活用した長期優良住宅の認定を容易に取得するための仕様書等の作成とその普及

県産木材加工現場見学



県産木材住宅の上棟式





環境にやさしいモデル工事の推進

【新規】

～地球にやさしい公共事業をめざします～

県の重点プログラム
を推進する事業

取組みの目的

○「省エネルギー」「省資源」「リサイクル」「生態系保全」の4つに配慮した環境資材の使用拡大を図ることで、環境への負荷の少ない低炭素・循環型社会の形成を推進する。

4つのキーワード

省エネルギー
(CO2の削減)

生態系保全
(地球にやさしい)

省資源
(材料の有効利用)

リサイクル
(廃棄物の再資化)

- 省エネルギー・省資源
→ 地球温暖化防止対策
- リサイクル
→ 循環型社会の構築
- 生態系保全
→ 生態系に配慮した製品

取組みの内容

○「省エネルギー」「省資源」「リサイクル」「生態系保全」の4つをキーワードとした建築資材を使用するモデル工事を各出先機関で選定し、その工事請負費の一部を助成することで、環境資材の使用機会の拡大と認識を高める。

製品の事例

○建設副産物・間伐材を有効活用した以下の4つのキーワードに繋がる製品

【1 省エネルギー】

Co2削減に寄与する製品

【2 省資源】

廃棄物にせずに再利用する製品

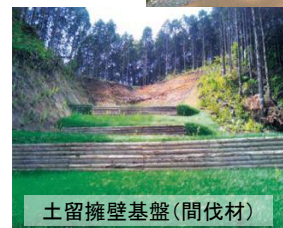
屋上緑化もみからマット(ヒートアイランド防止)



木質チップ舗装



保水性ブロック(ヒートアイランド防止)



土留擁壁基盤(間伐材)

【3 リサイクル】

うつくしま、エコ・リサイクル製品

【4 生態系保全】

生態系に配慮した製品

透水性平板(銅スラグ)



魚巢ブロック



レジソコンクリート蓋(ガラスレット)



間伐材スロープ側溝



里山の暮らしを支える道づくり

【新規】

～過疎・中山間地域における地域交通確保事業～

県の重点プログラム
を推進する事業

取組みの目的

路線バスの衰退により、交通弱者の移動する権利が損なわれている過疎・中山間地域等において、通院をはじめとした日常生活を支援します。

取組みの内容

アンケート等により、住民の移動実態を把握し、関係機関と連携しながら、通勤・通学・買物・通院・出荷など様々な生活・産業活動の支援策を検討します。

支援策のイメージ

① 暮らしの支援(コミュニティバス等の導入)

- ・日常生活に必要な生活交通(生活の足)の維持・確保等
- ・大型バスのすれ違いが可能となる待避所等の整備による安全な通行の確保等



待避所整備前



待避所整備後

② 救急医療の支援

- (1) 普通車がすれ違える道路整備等により、救急医療機関への搬送の速達性の確保、ドクターヘリ離着陸場までのアクセス性の向上等
- (2) 道路の改良等により生じた道路敷などを活用したドクターヘリ離着陸場の整備の可能性調査

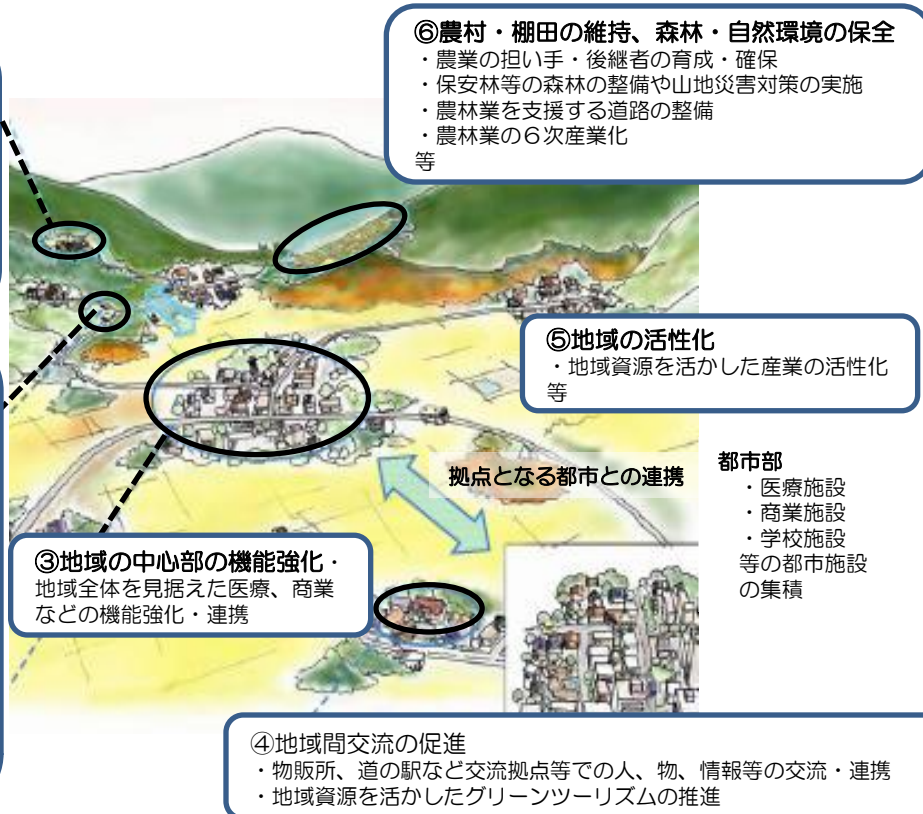
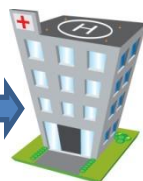
(過疎・中山間地域における緊急搬送の例)



(1) すれ違い可能な道路の整備



(2) 離着陸場の整備検討





みんなで育もう『地域の宝』

～文化や伝統、歴史、風土など地域資源を生かした地域づくり～

県の重点プログラム
を推進する事業

取組みの目的

本県の多彩な風土や観光資源、地域資源（地域の宝）を活用し、個性と魅力ある美しい地域づくりや、交流人口の拡大に結びつく施策を地域団体・住民や市町村とともに考え、地域に愛着と誇りを持ち、未来に希望が持てる地域社会の実現を目指します。

実施予定箇所

- ①羽州・奥州街道地区(桑折町・国見町)
- ②熱海地区(郡山市)
- ③南湖公園地区(白河市)
- ④宮下地区(三島町)
- ⑤喜多方中心市街地地区(喜多方市)
- ⑥伊南川周辺地区(南会津町ほか)
- ⑦あぶくまロマンチック街道(飯館村ほか) **新規**
- ⑧遠野地区(いわき市) ほか



実施の状況

視点場づくり

親水空間づくり

遊歩道づくり

待避所づくり

交流広場づくり

里山風景の保全

取組みの内容

○「地域の宝」に光をあて、懇談会をとおしながら住民主体の地域づくり活動を行い、その地域に真に必要な社会資本整備（道路拡幅、歩行空間確保、交流広場整備、案内板整備など）を行います。



<里山風景の保全(あぶくまロマンチック街道)>



田舎に住んで民家！？

【新規】

～定住・二地域居住を進めるため、居住環境の向上に努めます～

県の重点プログラム
を推進する事業

取組みの目的

人口減少により空き家が増加している一方で、これらの空き家を地方に住みたいという定住・二地域居住へのニーズへ提供できない状況がみられる。そこで、県外や県内の移住希望者等に対して、魅力ある理想の住まいを探し出せる環境と安心して暮らせる居住環境の整備を、市町村や建築等関係団体などと連携して支援します。

相談対応のイメージ図

【 県外からの相談 】



相談



【 県内からの相談 】



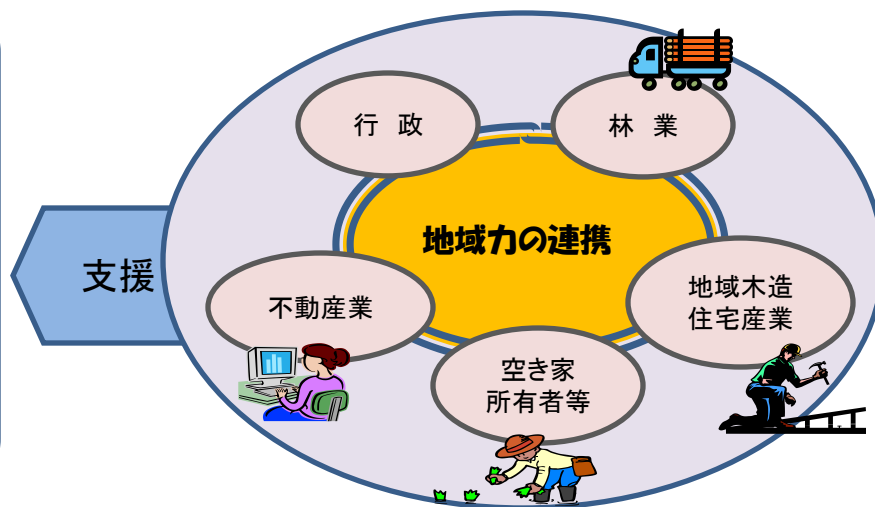
相談



(仮称) 空き家・古民家
相談センター

- ・住宅改修やその費用に関する相談
- ・不動産に関する相談や情報提供
- ・暮らし全般に関する相談や情報提供

支援





“魅力いっぱい” 磐梯吾妻、来て！見て！食べて！事業

～観光有料道路を核として、磐梯吾妻地域の魅力の向上に努めます。～

県の重点プログラム
を推進する事業

取組みの目的

観光有料道路が結ぶ磐梯吾妻地域の魅力を再発見し、観光の振興を図るため、この地域の市町村、商工団体、観光団体等、関係機関が連携して実施する広報活動やイベント等を支援します。

取組みの内容

【磐梯吾妻観光推進協議会が実施する事業】

- 戦略キャンペーン事業
 - ・プレミアム特典付の観光有料道路セット券を発売し、磐梯吾妻地域への誘客や交流人口の拡大を図ります。
- 総合PR事業
 - ・ホームページでの情報提供やプレゼント応募で収集した意見を参考に効率的なPRを実施します。
 - ・写真コンテストを実施し、地域の魅力を再発見します。
- 高地トレーニング事業
 - ・健康やスポーツといった新たな視点での魅力をPRするため、ジュニア・シニア・市民ランナーを対象に高地トレーニング教室を開催します。

実施予定

- ・観光有料道路プレミアム特典付セット券の発売（4月～9月）
- ・磐梯吾妻アクティブガイド（磐梯吾妻地域PR用のリーフレット）を関東方面を中心に配布
- ・写真コンテストの実施
（募集期間：4月～11月）
- ・高地トレーニング教室の開催
（ルディックウォーク、ルイイ10km走等）
- ・そばマップを花見山等で配布



<高地トレーニング教室>

実施の状況

- ・観光有料道路プレミアム特典付セット券の発売
- ・写真コンテストの実施



<H21年度版観光有料道路セット券> <H21年度写真コンテスト最優秀作品>



取組の主体

○磐梯吾妻観光推進協議会（事務局：道路計画課、福島県道路公社）

< 構成員 > 市町村…福島市、北塩原村、磐梯町、猪苗代町 商工団体…福島市商工会議所 他3団体
観光団体…福島県観光物産交流協会 他8団体 環境団体…自然公園財団
有料道路関係…福島県道路公社 県機関…観光交流課、自然保護課、道路計画課



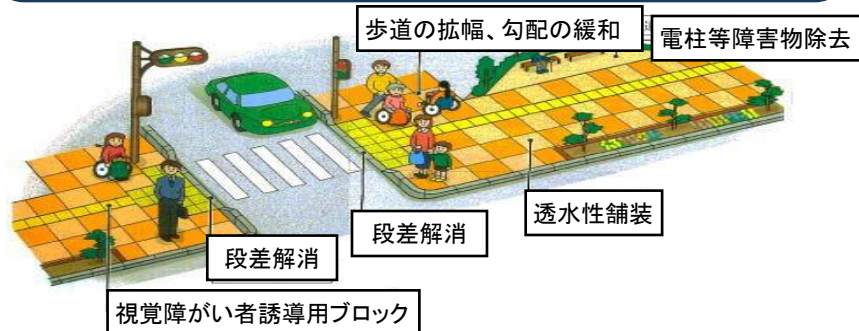
人にやさしく安全で快適な歩行環境づくり

～全ての人が安心して通れる歩行空間の創出～

県の重点プログラム
を推進する事業

取組みの目的

ユニバーサルデザインに配慮し、車いす利用者や高齢者、障がい者など全ての人が自由に移動でき、安心して生活ができる「思いやり」のある社会の実現を支援します。

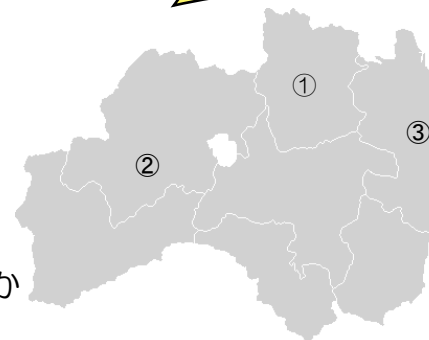


取組みの内容

- 地域の方々との現地調査や意見交換などを実施し、適確なニーズ把握に努めます。
- 安全で使いやすい歩道の整備を推進します。
- 既存歩道の段差解消や勾配の緩和のほか歩道を広げるなど安全で歩きやすい歩行空間を整備します。
- 側溝の蓋掛けや幅広路肩など地域の実情に応じた歩行者の安全確保に努めます。

実施予定箇所

- ①福島飯坂線
「平野工区」(福島市)
- ②国道400号
「阿久戸工区」(昭和村)
あくと
- ③小浜字町線
「旭町工区」(南相馬市) ほか
おはまごまちせん



実施の状況

福島飯坂線(平野工区)「段差解消・勾配の緩和・滑りにくく靴のかかところが落ち込まない側溝蓋の採用・防護柵の更新」



会津柳津停車場線(一王町工区)「段差解消・車道を狭め安全な歩行空間を確保」





進めます！“みんなにやさしい”公共建築

～すべての人が安全に安心して利用できるよう、県有建築物の改修を進めます～

県の重点プログラム
を推進する事業

取組みの目的

県有建築物について、ユニバーサルデザインの考え方にに基づき、高齢者や障がい者を含むすべての人々が安全に安心して利用できるよう、改修等を進めます。

取組みの内容

施設利用者等のニーズを的確に捉えながら、「人にやさしいまちづくり条例」の整備基準に沿った改修等を行います。

○段差の解消、手すりの設置、点字ブロックの敷設、出入口幅員の確保、扉の改修、エレベーターの設置などを行います。

○誰もが使いやすい「みんなのトイレ」や授乳室などを整備します。

実施予定箇所

- ①本宮警察署
- ②須賀川警察署
- ③三春警察署
- ④喜多方警察署
- ⑤いわき東警察署（設計のみ）

※対象全80棟のうちH22年度末で76棟が完了予定



実施の状況



みんなのトイレを設置



手すり・スロープで段差を解消



デザイン改善に向けた利用者の皆さんによるワークショップ



エレベーターを設置

会津若松合同庁舎の例



緊急橋りょう改修事業 外

～県民の安全・安心を守るため、戦略性を持ち計画的に橋りょうの補修、補強を行います

- 緊急橋りょう改修費
- 道路橋りょう調査費
- 橋りょう補修費（補助）
- 地域活力基盤整備費
- 地域自立・活性化事業費
- 地方特定道路整備費
- 道路再生事業費

県の重点プログラム
を推進する事業

取組みの目的

- 高度成長期に集中して整備され、今後急速に老朽化が進む橋梁について、計画的に長寿命化対策を行い、「いつでも、いつまでも」県民の安全な生活を支えます。
- 役場や避難所などの防災拠点を結ぶ緊急輸送路における橋梁の耐震化により、震災時の早期復旧を支援します。

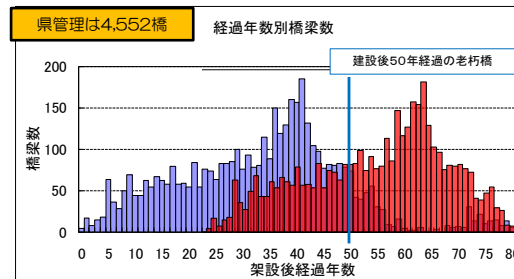
取組みの内容

- 橋梁の橋梁補修（長寿命化対策）
橋梁を良好な状態に保つため、橋桁の補修や再塗装等を行い、長寿命化を図ります。
- 橋梁の耐震補強（震災対策）
地震による橋桁の落下や、橋脚の被災を防止するため、桁及び下部工に必要な補強を行い、倒壊などの被害を防止します。

取組みの効果

- 橋梁の長寿命化により、長期的な維持管理費用の縮減や安全性の向上が図られ、県民生活の安全・安心が確保されます。
- 橋梁の文化的価値の保全や景観の向上が図られます。
- 緊急輸送路における橋梁の耐震性向上が図られ、震災に強い道路ネットワークの形成が図られます。

事業イメージ



＜橋梁の架設後経過年数＞

【現在】

建設後50年を経過した橋梁は約1割。

【20年後】

建設後50年を経過した橋梁が約6割に増加。

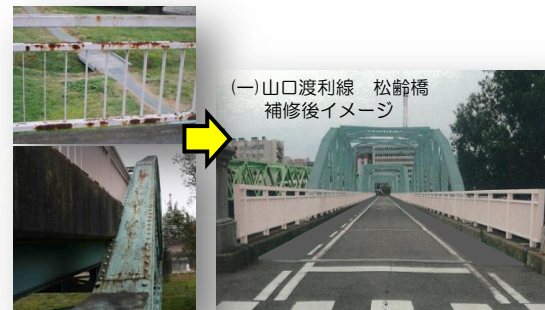
計画的、重点的な施設の長寿命化対策が必要！

※H19から実施の初回定期点検はH21年度で全橋完了。
※定期点検に基づく長寿命化修繕計画はH22年度で策定完了予定。

【橋梁補修（長寿命化対策）】



劣化した桁の補修により橋の長寿命化を図ります。



塗装等により耐久性の向上や景観の向上を図ります。

＜補修予定橋梁数＞

H22年度は約80橋について長寿命化対策に着手します。

【耐震補強（震災対策）】



桁の落橋防止（落橋防止装置設置）



橋脚の倒壊防止（コンクリート巻き立て）

＜耐震補強の進捗状況＞

【要対策数】

緊急輸送路の耐震化が必要な橋梁は255橋。

【H22年度末予定】

うち、H22年度末で249橋が対策完了予定。

（H22年度は12橋について耐震対策を実施します）



災害は水から（自ら）守って安全・安心！

～ソフト・ハードが一体となった治水対策を進め、県民の生命・財産を守ります～

県の重点プログラム
を推進する事業

取組みの目的

豪雨災害から県民の生命・財産を守るため、河川の整備や防災情報などの提供を行い、地域と連携した減災体制を構築します。

実施予定箇所

河川の整備

- ①桜川(三春町)
 - ②右支夏井川(小野町) ほか
- 洪水予報の提供
- ③宇多川(相馬市)

集中豪雨から命を守るプロジェクト事業(県内8方部)



H12,8,5 集中豪雨
桜川の洪水状況(平成12年8月)



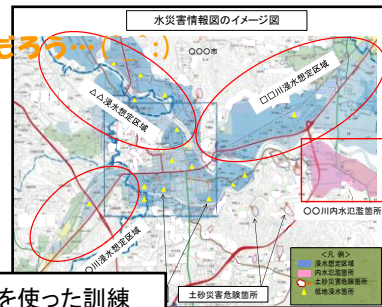
桜川とまちづくりを考える
ワークショップ(平成21年)

実施の状況

いざという時、どこに逃げればよいのだろうか…(;)



水災害情報図を使った訓練



川を広げ、調節池を整備したことにより
安全になりました！(;)

整備前

河川の整備(湯本川・いわき市)

整備後

取組みの内容

- 洪水による浸水被害が頻発している市街地河川を重点的に整備し、家屋などの浸水被害を解消します。
- 集中豪雨から命を守るための出前講座や、水災害情報図・洪水予報などの情報提供を行い「犠牲者ゼロ」への取り組みを進めます。



安全安心ふくしまの家づくりの推進

～地震などの災害に強い住宅づくりを支援します～

県の重点プログラム
を推進する事業

取組みの目的

安全で安心して暮らせる地域社会を形成するため、生活の基礎となる住宅の安全安心を確保し、より良質な住宅のストック形成を推進します。

取組みの内容

- 耐震化普及啓発技術者派遣事業
耐震に関する普及啓発のため、市町村で実施する地区説明会等へ専門技術者を派遣します。
- 木造住宅耐震改修講習会
住宅の耐震改修に関する技術力向上のため建築士等に対する講習会を開催します。
- 安全安心耐震促進事業
緊急輸送道路に面する地区や倒壊のおそれがある住宅の密集する地区、市町村耐震改修促進計画で定める重点地区等で木造住宅耐震診断を実施する市町村を支援します。

実施の状況

県民への普及啓発
＜地区での専門家による説明会を開催＞



技術力向上
＜建築士等への講習会開催＞



＜木造住宅耐震診断の実施＞



＜耐震改修事例：筋交い補強例＞





土砂災害から守るみんなの命

～ソフト・ハードが一体となった土砂災害対策を進め、県民の生命・財産を守ります～

県の重点プログラム
を推進する事業

取組みの目的

砂防えん堤等のハード対策や土砂災害警戒区域等指定のソフト対策を進め、土砂災害から県民の生命と財産を守り、安全で安心できる生活環境を確保します。



太陽の国(西郷村)
平成10年8月被災



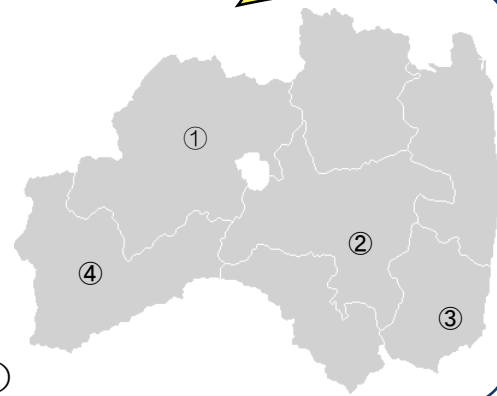
砂防えん堤による土石流対策
平成11年7月完成

取組みの内容

- 被災箇所等、災害の危険性の高い箇所や災害時要援護者関連施設のある土砂災害危険箇所を重点的に整備します。
- 土砂災害から身体・生命を守るための警戒避難体制の支援のため、土砂災害警戒区域等の指定を進めます。

実施予定箇所

- ①土石流対策
「北原沢」(会津坂下町)
- ②急傾斜地対策
「桜町2号」(石川町)
- ③地すべり対策
「菅谷地区」(いわき市)
- ④ソフト対策
基礎調査(南会津町ほか)



実施の状況



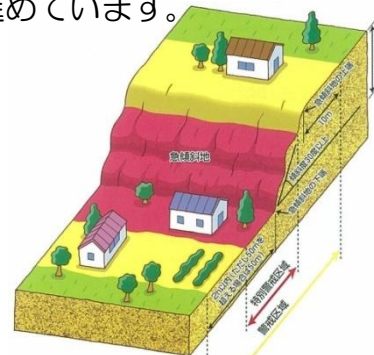
災害時要援護者関連施設(幼稚園)

急傾斜地対策



地すべり対策

※災害時要援護者関連施設(老人福祉施設、病院、幼稚園など)への対策は、保健福祉部などと連携して進めています。



基礎調査
(土砂災害警戒区域イメージ図)